

基礎的読解力向上 ガイドブック

令和4年3月23日発行
福井県教育総合研究所

目次

基礎的読解力向上のねらい	3	3 言い換える	35
このガイドブックで扱う基礎的読解力とは	4	学習活動例⑪「わかりやすく言い換えてみよう」	36
基礎的読解力を向上させるために	5	学習活動例⑫「教科書〇×クイズ」	37
1 文章中に使われている用語の理解	10	学習活動例⑬「正答かどうかを話し合おう」	38
2 言葉と言葉の関係をとらえる	13	4 図表を使って考える	39
(1) 主語・述語の関係をとらえる	13	学習活動例⑭「写真や絵から読み取ろう」	48
学習活動例①「主語・述語を入れて例文づくり」	16	学習活動例⑮「数量の関係を言葉で表そう」	49
(2) 修飾語・被修飾語の関係をとらえる	17	学習活動例⑯「数量の関係を図で表そう」	50
学習活動例②「修飾語で言葉足し算ゲーム」	20	学習活動例⑰「描写や現象で図で表そう」	51
学習活動例③「カードを使って短文作り」	21	学習活動例⑱「図や表を使って説明しよう」	52
学習活動例④「意味が曖昧な文を推敲しよう」	22	学習活動例⑲「俳句や詩を作ろう」	53
学習活動例⑤「表現の工夫を考えよう」	23	5 具体例を考える	54
(3) 主語や目的語の省略を確認する	24	学習活動例⑳「具体例を挙げよう」	55
学習活動例⑥「省略された語を読み取ろう」	26	学習活動例㉑「定義に当てはめて分類しよう」	56
(4) 付属語(機能語)について確認する	27	学習活動例㉒「仲間わけしよう」	57
学習活動例⑦「付属語を吟味しよう」	29	学習活動例㉓「文章題を作ろう」	58
学習活動例⑧「言葉を分類しよう」	30	6 読み取ったことから考える	59
学習活動例⑨「カードを使って英文作り」	31	学習活動例㉔「理由や目的を考えよう」	60
(5) 指示語(照応)について確認する	32	学習活動例㉕「整理した情報から考えよう」	61
学習活動例⑩「5W1H表」で整理しよう	34	主体的・対話的で深い学びへ	62

基礎的読解力向上のねらい

授業でこんな児童・生徒の姿が見られませんか？

問題や指示の内容が理解できていない。

計算はできるのに文章題ができない。

文章を読んでも、「誰が何をした」「何がどうした」といった基本的なことが読み取れていない。

記述式問題の解答を見ても自分の答えが合っているか判断できない。



学習指導要領(H29告示)においても、「教科書の文章を読み解けていないとの調査結果もあるところであり、文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすることは喫緊の課題である。」と述べられています。

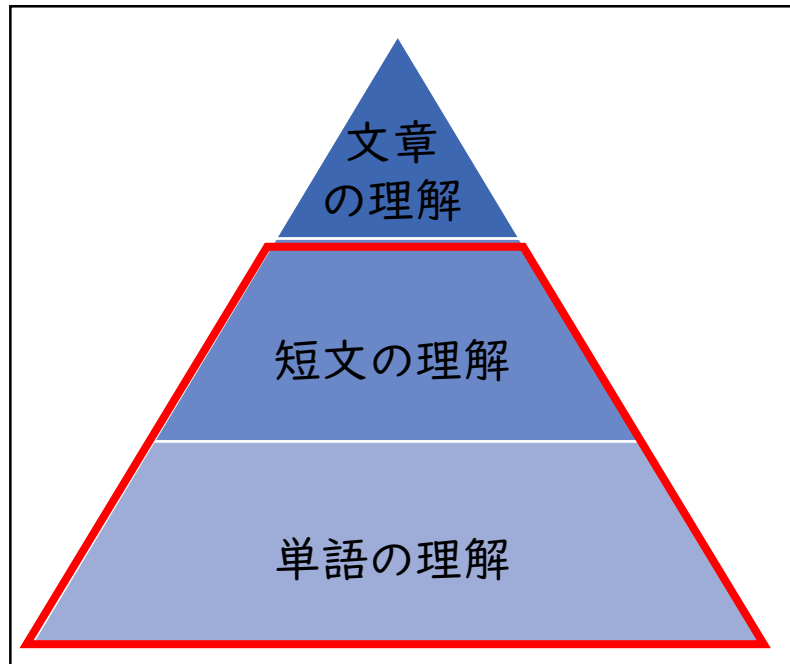
そこで、基礎的読解力向上のねらいを「教科書に表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすること」としました。

このガイドブックは基礎的読解力の向上に有効と考えられる指導例の紹介を通じて、児童・生徒の基礎的読解力向上に資することを目的としています。

このガイドブックで扱う基礎的読解力とは

「教科書に書かれた内容を正確に理解し、考えを形成する基盤となる力」です。

このガイドブックでは教科書全体の内容を理解するために、その構成要素である短文や、単語の理解に着目しました。文章を構成している短文や単語を正しく理解して読むことが、文章全体の正確な理解につながると考えたからです。



左の図のように文章全体の理解の基礎となる部分が基礎的読解力の対象範囲です。

短文とは次の定義のような1~3文の文章を指します。

体積が同じでも、その質量は物質の種類によってちがう値を示す。単位体積あたりの質量をその物質の密度といい、ふつう 1cm^3 あたりの質量で表す。(中1理科)

単語とは次の学習用語のような言葉を指します。

質量:質量は物質そのものの量をあらわす。

(中1理科)

基礎的読解力を向上させるために

次の理科の教科書の文章を例に読解のポイントを示します。

身のまわりには様々な性質を持つ物質が存在し、物質を見分けるための様々な方法がある。その1つに物質の質量や体積をはかる方法がある。体積が同じでも、その質量は物質の種類によってちがう値を示す。単位体積あたりの質量をその物質の密度といい、ふつう 1cm^3 あたりの質量で表す。

1 文章中に使われている用語の理解

文章中に使われている学習用語の意味を理解していることが前提になります。



「質量」は「物質そのものの量」のこと。
「単位体積あたり」とは・・・

2 言葉の関係をとらえる

主語、述語、修飾語の係り受けといった語と語の関係をとらえます。

修飾部	主語	述語
様々な性質をもつ	物質が	存在する。

↑

指示語がどの語を指すかを照応させたり、省略された語を補ったりします。

その1つに物質の質量や体積をはかる方法が・・・ ➡ 「物質を見分ける様々な方法」

3 言い換える

必要に応じて理解しやすい形に言い換えます。

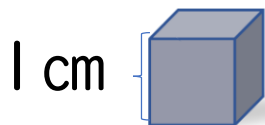
単位体積あたりの質量をその物質の密度といい、ふつう 1cm^3 あたりの質量で表す。



密度は1辺が1cmの立方体の体積あたりの質量で表す。

4 図表を使って考える

必要に応じて図や表に表して考えます。

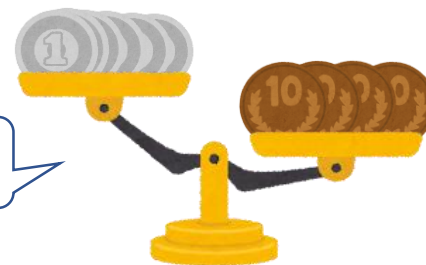


金属の密度 (g/cm^3) (約 20°C の値)			
アルミニウム	2.70	銅	8.96
亜鉛	7.13	銀	10.50
鉄	7.87	金	19.32

5 具体例で考える

具体例に当てはめたり、例を挙げたりして考えます。

同じ体積なら銅の方が質量が大きい



6 読み取ったことをもとに考える

読み取ったことから、何が言えるかを考えます。



物質の密度が分かれば、物質の種類が予想できます。

それぞれのポイントに関わる能力値を測定するためのリーディングスキルテストの結果は以下のようになっており、各ポイントにおいて、課題があることがわかります。

リーディングスキルテスト(RST) 平均正答率 (2020年時点)

読解のポイント (問題形式)	6年生	中学生	高校生
語と語の係り受けをとらえる。 (主語や目的語を選択) 4択	58.2%	66.8%	75.3%
指示語の内容や省略された語を補う。 (指示語・省略語を選択) 4択	52.3%	63.5%	69.7%
言葉を言い換える。 (言い換えの正誤判定) 2択	60.2%	67.4%	71.6%
図表を使って考える。 (説明に合う図表を選択) 4択 複数選択	42.5%	46.0%	50.9%
具体例で考える。 (説明に合う具体例を選択) 4択 複数選択	29.7%	34.4%	40.2%
読み取ったことをもとに考える。 (前提から新たな情報が言えるかを判定) 3択	44.4%	52.6%	58.7%

そこで本研究所では、各ポイントにおける能力を向上させる手立てをとることで、基礎的読解力の向上につながると考えました。

研究協力校において、3年間の実践事例の調査研究を行い、RSTの各能力の偏差値の向上を検証しました。3年間継続して実践研究を行ったA中学校では2年生のRST各偏差値が次のように向上しました。

A中学校 RST偏差値の向上（数値は中学校における偏差値）n:56

	係り受け解析	照応解決	同義文判定	推論	イメージ同定	具体例同定
R2.7月	44.3	45.3	43.9	44.4	44.8	45.3
R3.1月	54.3	51.4	49.5	51.6	52.4	52.7
差	+10.0	+6.1	+5.6	+7.2	+7.6	+7.4

このガイドブックでは、A中学校を含めた研究協力校において行われた多数の実践のうち、特に効果があると考えられるものを抜粋して紹介しています。

これまでの実践研究報告については本所「紀要」を参照してください。

[基礎的読解力向上策における学習用語習得の実践](#)（紀要 第127号）

[基礎的読解力向上の研究](#)（紀要 第126号）

[RSTを活用した基礎的読解力向上の研究](#)（紀要 第125号）

ここからは、基礎的読解のポイントとして挙げた次の6つについて、指導する際のポイントや学習活動例を紹介していきます。

- 1 文章中に使われている用語の理解
- 2 言葉と言葉の関係をとらえる
- 3 言い換える
- 4 図表を使って考える
- 5 具体例で考える
- 6 読み取ったことをもとに考える

1、2では説明的な文章に関わる用語や、文法的な知識、技能の向上について述べているため、国語科の内容が中心となっています。

しかし、1、2の内容は、他教科の教科書の内容を読解する上でも基本となる事項ですので、他教科の先生方も参考にしてください。

1 文章中に使われている用語の理解

教科書で使用する学習用語は各教科の学習の中で系統的に学習していきます。本所紀要にて学習用語の特性について述べていますので、詳しく知りたい方はご覧ください。

[基礎的読解力向上策における学習用語習得の実践](#)（紀要 第127号）

ここでは学習指導要領(平成29年告示)において新設された「情報の扱い方に関する事項」のうち、他教科とも関連のある「情報と情報の関係」に関する用語を取り上げます。

小学校	第1・2学年	共通、相違、事柄の順序
	第3・4学年	考え、理由、事例、全体と中心
	第5・6学年	原因と結果
中学校	第1学年	原因と結果、意見と根拠
	第2学年	意見と根拠、具体と抽象
	第3学年	具体と抽象

これらの用語については、各学年の国語科の教科書において解説とともに、学習活動が設定されています。しかし、「具体と抽象」の「具体」については、小学校3年生から他教科においても高い頻度で使われているにも関わらず、小学校の教科書では定義がなされていないため、注意が必要です。



また、「具体と抽象」に関する語には下図の「根拠」「主張」のような意見文や説明的な文章の読解に関する多くの用語が含まれています。

具体 言葉を聞いて、姿や形が 明確に思い浮かぶ物事		抽象 複数の物事から共通点を 取り出してまとめたもの	
根拠	考えや主張を支える事実や体験などの具体的な事例	主張	他の人にうたえる意見や思いのこと
事例	物事や考えを説明するために例として挙げられる事実のこと	要旨	筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、それについての筆者の考えの中心となる事柄
事実	調べてわかったこと	考え	まだ確かでないこと(推測)や、人によって賛成・反対が分かれること(意見)
	実験や観察の結果		
	確かなこと。 例えば、実際に起こった出来事、信頼できるデータ、科学的に証明された事柄など	意見	結果に基づく考察・解釈 人によって賛成・反対が分かれること。ある事柄をよいと思うかどうかを述べること
		まとめ	(解説なし)

学習用語指導のポイント

- ・たとえば「事実」のように使用頻度が高く、意味を理解していると考えられる用語についても、理解できているかを確認します。

第66回学校読書調査の結果では、2021年5月1か月間の高校生の平均読書冊数は、1.6冊となっている。

本を読まなくなったのは、知りたい情報がインターネットなどで簡単に手に入るからだろう。

今後、読書離ばなれに対して何らかの手立てが必要である。

「事実」に線を引いてみましょう。



- ・下図のように1つの用語に複数の用語が関係している場合には、その関係性に沿った発問をします。

主張 考え 意見



根拠

事実
体験

実際に起こった出来事
信頼できるデータ
科学的に証明された事柄

筆者はどんな根拠をもとに主張しているかな？

根拠となる事実や体験はどこに書かれているかな？



2 言葉と言葉の関係をとらえる

(1) 主語・述語の関係をとらえる

小学校の教科書では主語・述語は次のように説明されています。

文の中で、「だれが(は)」「何が(は)」に当たる言葉を主語、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たる言葉を述語といいます。
主語はいつも文のはじめにあるとは限りません。



主語・述語って、どうやって
見つけたらいいの？

(こくご2年下 光村図書)

中学校の教科書では、主語の見つけ方について、次のように説明されています。

主語の見つけ方…「○○が」の形をとらない主語もある。主語を探すには、まず述語を見つけ、そうする(そうである)のは何(誰)かを考える。そして、「何(誰)がーどうする(どんなだ)」に当てはめて確認する。

(国語中1 光村図書)

小学校においても主語・述語について定義を説明するだけでなく、見つけ方について指導することで、文中の主語・述語の関係が捉えやすくなります。

主語・述語指導のポイント

述語は基本的に文末にあり、見つけやすいため、先に述語をとらえるようにします。

例 ぼくは 昨日は テレビを 見た。



文の終わりにある「見た」が述語です。

このように述語→主語の順に捉えることで、文中の主語・述語の関係を見つけやすくなります。

次に、「文中における述語の主体は何か？」を考え、主語を見つけます。



では、「見た」のは「だれが」見たのかな？



「見た」のは「ぼく」なので、主語は「ぼくは」です。

ただし、述語が文の終わりにない例外もあります。

例外 「だれかやってみて。」 「僕が。」(省略)
「きれいだ、花が。」(倒置法)
「花は咲き、蝶が舞う。」(重文や複文)

次のような例文を使って、文中の主語・述語を捉える練習をしましょう。

単文（主語・述語の関係が1つのもの）

- ・ バスが 止まった。
- ・ 小さな 子どもが いる。
- ・ 男の 人が バスを 待つ。

主語に「が」や「は」以外の助詞が付くもの

- ・ 車も 止まった。
- ・ 彼こそ 本当の 天才だ。

複文や重文 （主語・述語の関係が2つ以上あるもの）

- ・ 子どもたちが いない 教室は とても 静かだ。
- ・ 弟が 食べる ご飯さえない。
- ・ 暖かい 風が 吹き、美しい 花が 咲く。

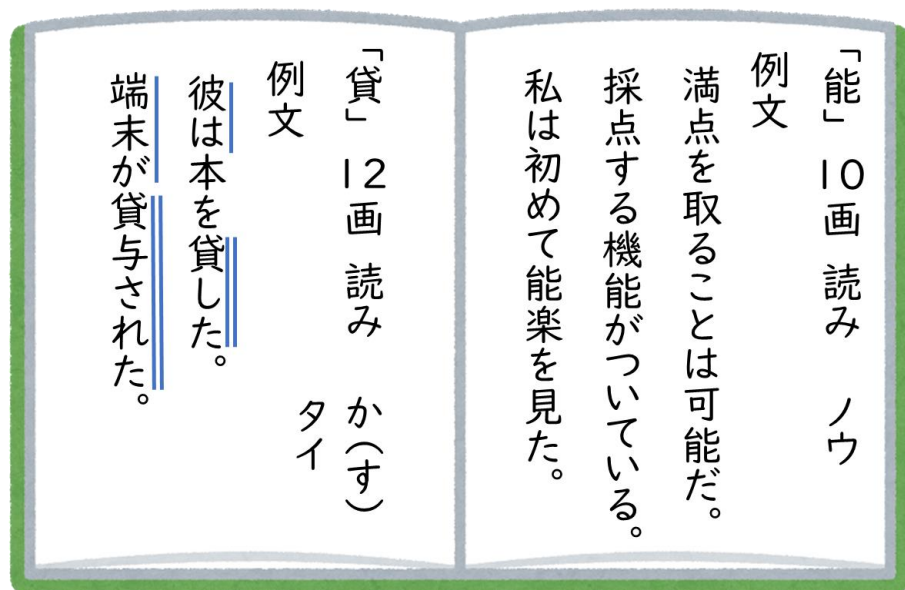
慣れたら、教科書の文から主語・述語を捉えるようにしましょう。

学習活動例① 「主語・述語を入れて例文作り」

小学校2年生以上

次のような場面で述語と主語を入れた例文を作ること、漢字や言葉の使い方も身につけることができます。

新出漢字の学習で



新しい言葉の学習で

「抽象的」

いくつかの事物に共通なものを抜き出して、それを一般化して考えるさま。頭の中だけで考えていて、具体性に欠けるさま。

彼の話は抽象的でわかりにくい。

抽象的に考えることは大切だ。

彼の絵は抽象的だ。

「愛」という言葉は抽象的な言葉です。

ICTを活用し、お互いの例文を読み合い、主述の呼応がっているかを確認めます。

(2) 修飾語・被修飾語の関係をとらえる

教科書では修飾語は次のように説明されています。

どんな		どのくらい
赤い	花が	たくさん さきました。
└──┬──┘	↑	└──┬──┘
<p>□ の「どんな」「どのくらい」のように、文の意味をくわしくする言葉を、修飾語といいます。</p> <p>「赤い」は主語の「花が」に、「たくさん」は、述語の「さきました」に係って、それぞれの意味をくわしくしています。</p> <p>「いつ」「どこの」「だれに」「何(どこ)を」「だれ(何)の」「どのように」に当たる言葉も修飾語です。</p>		

(国語3下 光村図書)

他の文節を詳しく説明したり、内容を補ったりする働きをもつ文節を修飾語という。修飾する文節と修飾される文節の関係を修飾・被修飾の関係という。

(国語1 光村図書)



他の文節の意味をくわしくするのが修飾語なんだな。
でも、「係る」がどういうことか、わからないな。

修飾・被修飾語指導のポイント

修飾・被修飾について次の点をおさえておくことで、関係が捉えやすくなります。

- ・修飾語は後ろの言葉に係る。

昨日 ぼくは ともだちに 電話した。

- ・離れた言葉に係ることがある。

昨日 ぼくは ともだちに 電話した。

- ・1つの文の中に重ねて使われることがある。

昨日 ぼくは となりの クラスの ともだちに 電話した。

- ・語順を意図的に入れ替えた場合（倒置法など）は、係り受けが前後する。

ぼくは 電話した、ともだちに。

・主語と述語に着目して整理する。

① 述語、主語を捉える

急に 大きな バスが 交差点の 前で 止まった。

② 修飾語がどこに係っていくか確認する。

急に 大きな バスが 交差点の 前で 止まった。



「急に」がくわしくしているのは…

急に→大きな × 急に→バス × 急に→交差点 × 急に→前 ×
急に→止まった ○ 「急に」は「止まった」に係る。

急に 大きな バスが 交差点の 前で 止まった。



③ 他の文節についても同様に確認する。

急に 大きな バスが 交差点の 前で 止まった。



※必要に応じて修飾語の位置について考える。

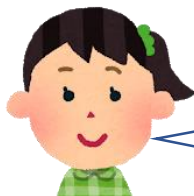
「急に」という修飾語に係る「止まった」と離れているね。
他にはどこに入れることができるかな？

学習活動例② 「修飾語で言葉足し算ゲーム」

小学校3年生以上



「先生が走った。」という主語・述語だけの文に1人1つずつ修飾語を付け足していきましょう。



先生が一生懸命に走った。

校庭で先生が一生懸命に走った。



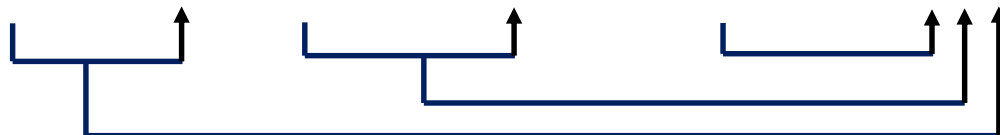
校庭であわてた先生が一生懸命に走った。

広い校庭であわてた先生が一生懸命に走った。



付け足した後で、どの語がどこに係るか、確認してみましょう。

広い 校庭で あわてた 先生が 一生懸命に 走った。



学習活動例③ 「カードを使って短文作り」

小学校3年生以上



一人一人が考えた主語、修飾語、述語を組み合わせ、文を作ってみましょう。

① 主語、修飾語、述語にあたる言葉をそれぞれ考える。

主語カード

だれが(は) 何が(は)

先生が

〇〇さんが

犬が

修飾語カード

いつどこ(で) 何(を) どのように

昨日

体育館で

ボールを

ラーメンを

おいしそうに

公園で

述語カード

何だ どうする どんなだ

とんだ

かんだ

食べた

きれいだ

② カードを出し合って、できた文のおもしろさを味わう。



先生が



昨日



ボールを



食べた



語順を変えたり、状態を表す語を入れたりすることで係り受けについて考えるきっかけにもなります。

学習活動例④「意味が曖昧な文を推敲しよう」

小学校3年生以上



次の例文を修飾と被修飾との関係をはっきりするように改めよう。

【例】猫は 必死で 逃げる ねずみを 追いかけた。

必死で逃げる？



必死で追いかけた？



「猫は 逃げる ねずみを必死で 追いかけた。」とすれば、猫が必死だったとなるよ。

ねずみが必死で逃げていることを表すには…。



【例】今日は 2人の 男の子と 女の子が 欠席しました。



欠席したのは3人？ 2人？

欠席した人数が2人だと伝えるためには…。



文節どうしの関係をはっきりさせることで、伝えたいことが明確になることがわかります。

学習活動例⑤ 「表現の工夫を考えよう」

小学校3年生以上

物語や詩の修飾語や語順にどんな工夫がされているかを考えます。



作者のあまきみこさんは「きらきら」という言葉を下の文のどこに入れたと思う？

青い空の下、今日も、お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子供たちが、わらい声を上げて、遊んでいます。



作者はこれらの言葉をどんな順に並べて詩にしたと思う？

うぐいすの

はるの

つめたさ

こえ

すきとおる

におわせて



「すきとおる」のは「うぐいすの声」だよね。「春の」は「つめたさ」に係るのかな。



「はるの つめたさ におわせて すきとおるうぐいすの こえ」だと「うぐいすの声」がひびく様子が強調されると思うよ。

語順による印象の違いに気づくことで、読むときに語順に着目できるようになります。

(3) 主語や目的語の省略を確認する

小学校2年生以上

省略された語の指導のポイント

- ・主語の省略について例文を使って確認しましょう。



次の文の主語は何ですか？

昨日の 夜は テレビを 見ました。



「～は」がついているから「夜は」？



述語が「見ました」だから、「見た」のは「テレビ」？



「見た」のがだれかは、この文では書かれていないよ。

- ・日本語には主語や目的語の省略が頻繁にあり、省略された語を文脈から読み取ることが多くの場面で必要となります。

・児童、生徒が発言する際にも、主語や目的語の省略に注意しましょう。



ぶつかりました。



誰が何にぶつかったの？

・児童、生徒に発問や指示する際に、必要な情報を省略しないようにしましょう。



今日の振り返りを
書きましょう。



何について振り返ればいいのか？

今日学習したことについて2つのことを書くよ。
1つめは、新しく分かったことを書きます。
2つめは、もっと知りたいことや、次の時間に学習したいことを書きます。

・指示する場合には、児童、生徒がその活動を行うのに必要な情報を整理してから伝えるようにします。

学習活動例⑥ 「省略された語を読み取ろう」

小学校2年生以上

・教材文から省略されている主語や目的語を問います。

長いこと まっていました。 (こくご2下「お手紙」より)



だれが何をまっていたのですか？

「がまくんとかえるくんが」「かたつむりくんを」まっていました。



なぜだか律は雨上がりみたいなおねがおにもどって、ぼくにうなずき返したんだ。
「行こっか。」

(国語6 「帰り道」より)



「行こっか。」と言ったのは律？ぼく？

のたまひしに違はましかばと、この花を折りてもうで来たるなり。

(国語 中1「蓬菜の玉の枝」より)



「のたま」わったのは誰？「もうで来た」のは誰？

省略されている主語や目的語を考えることが、前後の文脈を読み取ることに繋がります。

(4) 付属語(機能語)について確認する

教科書では付属語について次のように扱われています。

○○は□□を△△しました。○○は□□へ△△しました。(こくご1 上 光村図書)

小学校では「は」、「を」、「へ」の表記について確認しますが、付属語の意味の違いなどには触れられていません。

中学校では次のように定義されています。

単独では文節を作ることができない単語を付属語という。活用しない付属語を助詞、活用する付属語を助動詞という。

(国語2 光村図書)

それだけでは一文節になれない単語を付属語という。助詞とは、活用のない付属語で、体言・用言・助動詞・他の助詞の後などに付く。
助動詞とは、活用のある付属語で、主に用言や他の助動詞の後に付く単語である。

(新しい国語2 東京書籍)

機能語とは、たとえば「だから」「しかし」などの接続語や、算数・数学で使われる「以上」「未満」のような語です。

付属語指導のポイント

- ・助詞、助動詞が付くことによって意味が変化することを例文を使って確認しましょう。

来年はがんばろう。(現在よくないので、来年がんばろう。)
来年もがんばろう。(現在と同じように、来年がんばろう。)
来年はがんばりたい。(自らが望んでいる。)
来年はがんばらせる。(強制してさせる。)

- ・次のように助詞、助動詞によって語の役割が変わることを確認しましょう。

<u>わたし</u> <u>が</u>	<u>昨日</u> <u>の</u>	<u>当番</u> <u>です</u> 。
主語	修飾語	述語
<u>昨日</u> <u>の</u>	<u>当番</u> <u>は</u>	<u>わたし</u> <u>です</u> 。
修飾語	主語	述語

- ・算数の文章題においても、数量関係を読み取る際には、付属語にも線を引くなど意識するようにしましょう。

「4mのひもを2人で分けると一人分は何mか。」
「4人で2mのひもを分けると一人分は何mか。」

学習活動例⑦ 「付属語を吟味しよう」

小学校3年生以上



付属語を変えることで、どんな印象の違いがあるかを話し合しましょう。

A 太郎がサッカーをしていた。

B 太郎はサッカーをしていた。

Aは、「太郎」が強調されているように感じるよ。



Bは、「サッカーをしていたこと」が強調されているように感じるね。



A 家へ帰った。

B 家に帰った。

Bは家についているけど、Aはまだ家に着いてない感じがするね。



A 明日は晴れそうだ。

B 明日は晴れるそうだ。

Aは自分で予想しているけれど、Bは人から聞いた予想だね。



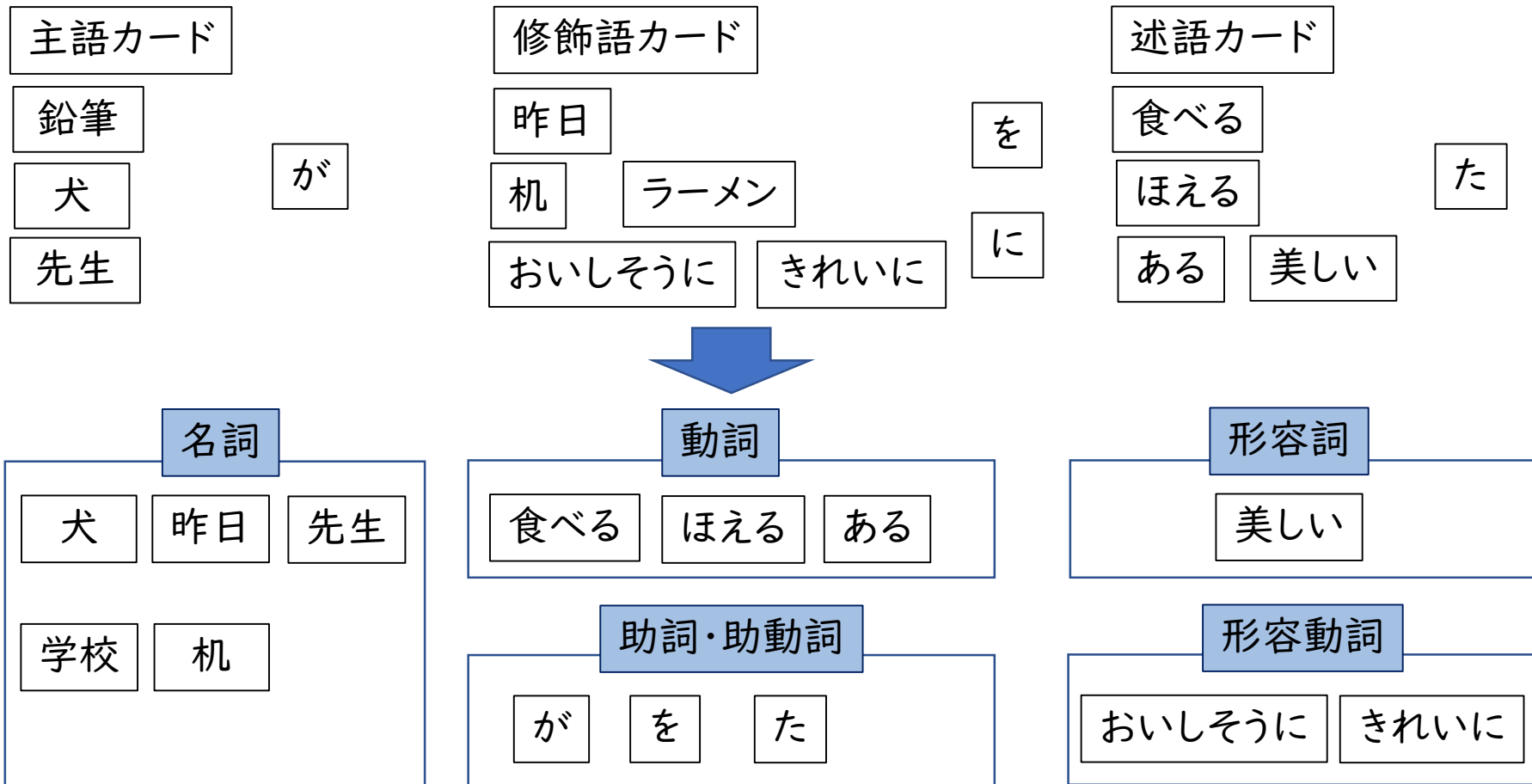
付属語にまで注意を向けられるように、お互いに書いた文章を推敲し合う活動を行います。

学習活動例⑧ 「言葉を分類しよう」

小学校3年生以上



活動例③で作ったカードをさらに、付属語と自立語に分けます。
主語には名詞が多く(体言)、述語には動詞、形容詞、形容動詞が多い(用言)ことなどを確認します。



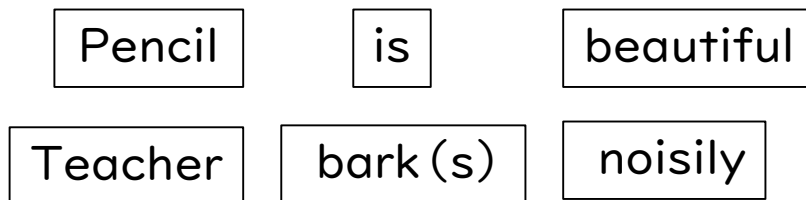
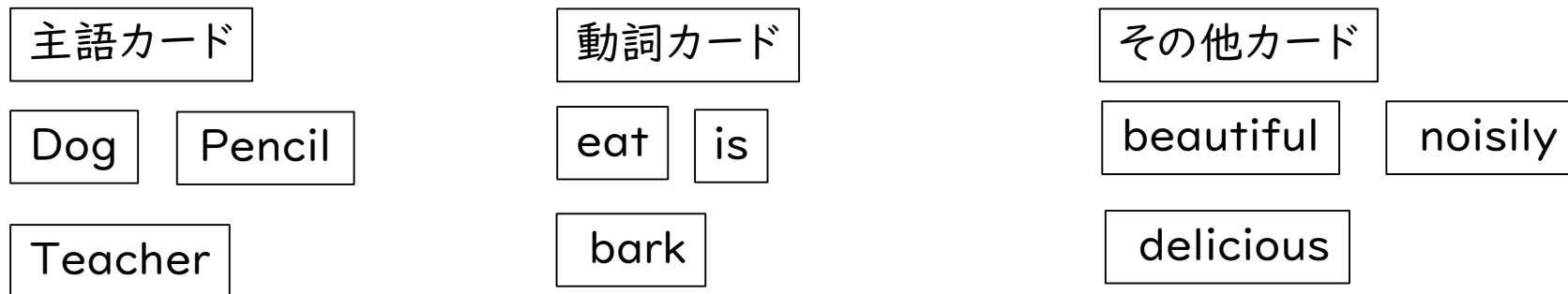
主語や述語になる言葉を分類することで、言葉と言葉の関係が、よりとらえやすくなります。

学習活動例⑨ 「カードを使って英文作り」

小学校3年生以上



英語でも活動例③のような「スクランブルエッグ」という言葉遊びがあります。次のようなカードを使って、決められた時間で、できるだけたくさんの文を作りましょう。



(The・三単現s等は学習状況に応じて補います)



英語は「主語+動詞+その他の語句」が基本的な語順なんだね。

英語と日本語の語順の特徴を知っておくことは、英文の読解にも有効です。

(5) 指示語(照応)について確認する

教科書では指示語について次のように説明されています。

「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、何かを指ししめす言葉です。たずねるときには、「どの」や「どれ」などを使います。このような言葉をまとめて、こそあど言葉といいます。

(国語3上 光村図書)

指示する語句は、物や場所などを直接指し示すだけではない。文中の語句や内容、文全体を指し示すことによって、前後の文をつなぐ働きもする。

「以上・右・前記・上記・前者／後者」などのような語も、指示する語句と同じ働きをする。

(中学校 国語I 光村図書)

また、下のように文章中から条件に当てはまる語句を指摘する際にも、指示語が照応する箇所を探すのと同じような過程を経ます。

太郎さんの家から学校まで800mあります。太郎さんは家を出てから同じ速さで歩き、10分後に学校につきました。

太郎さんが歩いた道のり、時間から速さを求めましょう。



道のり→800m、時間→10分間

指示語指導のポイント

指示語の指す範囲について確認しましょう。

- ・前の文章全体、または複数箇所を指す場合

鎌倉時代には曹洞宗や浄土真宗といった宗教が生まれました。これらの宗教は武士や農民に広まりました。

曹洞宗や浄土真宗



- ・特定の言葉を指す場合

ありは、おしりのところから、とくべつのえきを出すことが分かりました。それは、においのある、じょうはつしやすいえきです。(国語3年下「ありの行列」光村図書)

ありがおしりのところから出すとくべつのえき



指示語が特定の語句や部分を指す場合には、指示語の代わりに指示内容を当てはめ、意味が通じるかを確認します。

実をつくる植物の花では、めしべの先端に花粉がつきやすくなっている。
この部分を柱頭という。 新しい科学I (東京書籍)



めしべの先端

広場にはとがいました。そのうちの5わがとんでいきました。



広場にいたはとの

学習活動例⑩ 「5W1H表」で整理しよう

小学校5年生以上

言葉と言葉の関係をとらえる(1)～(5)の指導を行い、さらに下のような5W1H表を用いることで、複雑な構造を持つ文であっても情報を整理しやすくなります。

(この表には「なぜ(Why)」がありませんが、後述します。)

豊臣秀吉の天下統一に協力し、関東の有力な大名となった家康は、秀吉の死後、多くの大名を味方につけて勢いを強め、天下分け目の戦いといわれた関ヶ原(岐阜県)の戦いで自分に反対する大名たちを破り、全国支配を確かなものにしました。

(新しい社会6 歴史編 東京書籍)

だれが 何が	いつ	どこで	何を 何に	どのように	どうした 何だ どんなだ
家康は			豊臣秀吉の天下統一に	協力し	関東の有力な大名となった。
家康は	秀吉の死後		多くの大名を	味方につけ	勢いを強めた。
家康は		関ヶ原で (岐阜県)	自分に反対する大名たちを	破り	全国支配を確かなものにした。



次のように、複数の文の情報を比べることもできます。

だれが 何が	本居宣長などの 国学者	百姓や 町人	大塩平八郎 (元役人)	差別された 人々	長州藩や薩摩 藩などの藩
何をした	国学の研究を進め、 政治を行う人の心 構えを説いた。	百姓一揆や 打ちこわしをす るようになった。	役人を批判し、 反乱を起こし た。	差別を強める 命令を実行さ せなかった。	藩の政治を改 革しようとした。

3 言い換える

指導のポイント

学習した定義などを、同じ意味になるように言い換えることで、児童・生徒の理解を促すことができます。

- ・辞書に書かれている語義も、児童・生徒自身が理解できる言葉に言い換えます。

「推量」の辞書の語義



ある事柄をもとに推量する(押し量る)こと

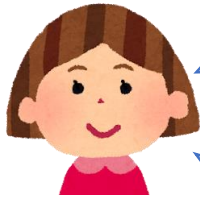
ある事柄をもとに、どのようなことが言えるかを考えることです。

- ・動作主側と受け手側を入れ替えたり、結論を入れ替えたりします。



源氏は平氏をほろぼした。

平氏は源氏にほろぼされた。



辺の長さがすべて等しい四角形はひし形です。

ひし形ならば辺の長さがすべて等しいです。

- ・動作主側と受け手側を入れ替えた文や、過程と結論を入れ替えた文が正しいかを確認めます。

学習活動例⑪ 「わかりやすく言い換えてみよう」

小学校3年生以上

言葉や文を下の学年の児童・生徒が分かるように言い換えて説明することで、理解が正しいか確かめます。

1とその数のほかに約数がない自然数を素数といいます。ただし、1は素数にふくめません。

(数学I 啓林館)



「素数」とはどのような数ですか。小学生にわかるように説明しましょう。

1とその数のほかに約数がない0より大きい整数を素数といいます。



2で割り切れる整数を偶数といいます。

(わくわく算数 5年 啓林館)



「偶数」とはどのような数ですか。3年生にわかるように説明しましょう。

2で割ってあまりのでない整数を偶数といいます。

「整数」とはどのような数ですか。3年生はわかるかな。

整数とは、0、1、2、3…のような数です。



学習活動例⑫ 「教科書〇×クイズ」

小学校1年生以上

教科書の記述を言い換え、正誤を問うことで文の内容を正確に理解しているか確認します。



次の文の内容は正しいですか？

植物は、二酸化炭素をとり入れて、酸素を出します。

わざと間違っ音読み、児童に間違いを指摘させ、どのように違うのかを問います。(ダウト読み)



二人ともさびしい気分で、
げんかんの前にこしを下ろし
ていました。

さびしい気分と、かなしい気分はどう違うの？

ダウト！
「かなしい気分」です。



児童・生徒が教科書の記述を使って〇×クイズを作り、お互いに出題し合います。



とじこめた水は、どんなにおされ
ても体積は変わらない。



どんなに…

学習活動例⑬ 「正答かどうかを話し合おう」

小学校5年生以上

学力調査の記述問題を利用して、生徒の解答が、正答の条件に合っているかどうかを話し合っ

ゆうとはどのような思いで、一度も足をつかずに山道を登り切ろうとしていますか。
30～50字で答えなさい。

(SASA2020 中学校国語 2 (5) より)

【正答の条件】

- ① 30～50字で書かれていること。
- ② 「父にはできなかつたことをやってやろう」という思いを書いている。
- ③ 「少年との約束を守りたい」という思いを書いている。

生徒の解答例

- A 父が中学生のころにできなかつたことをやり遂げ、少年と再び会いたいという思い。
- B 少年との約束を守るため、父ができなかつたことをやってやろうという思い。
- C 足をつかずに山道を登り切ることで、少年と再び会うことができるという思い。

AとBは条件を全て満たしているから○だよね。

Cは父ができなかつたということが書かれてないから×かな。



※話し合いに用いる解答は、テキスト形式にし、個人が特定されないように配慮しましょう。

4 図表を使って考える

指導のポイント

読解する際には考え・意見などの抽象と、実際の現象や出来事・物事などの具体とを結び付けて考えます。この仲立ちとなるのが写真や図表、グラフなどです。

太陽と月の位置関係によって、見える月の形が異なる。

実際の現象・物事

図表など

図表を読み取る力を身につけることで、実際の現象や物事をとらえやすくなります。

また、教科書には解説とともに図や写真が用いられていることが多いですが、中には言葉だけで説明されているものもあります。このような場合には、児童、生徒自らが撮った写真や書いた図表を使って説明し合う活動を積極的に取り入れましょう。

ICTを使えば単に他の児童、生徒と共有したり、全体に見せたりできます。

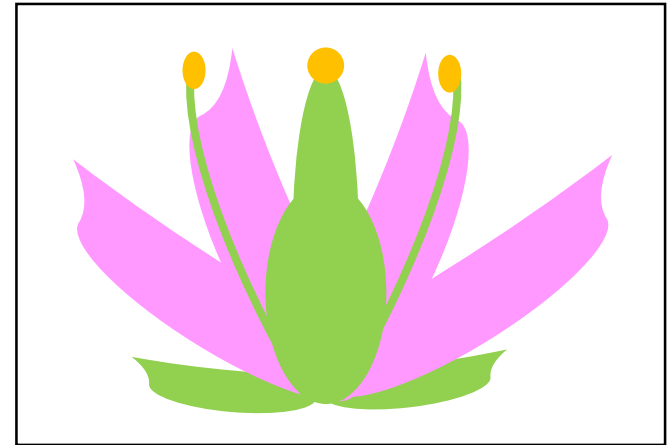
教科書で学んだ知識や学習用語が具体的にどの部分を示しているのかを図や写真を用いて確認してみましょう。



「子葉」はどれかな？
○で囲んでみましょう。



「めしべ」はどの部分ですか？
「柱頭」はどの部分ですか？
それぞれ色で塗ってみましょう。

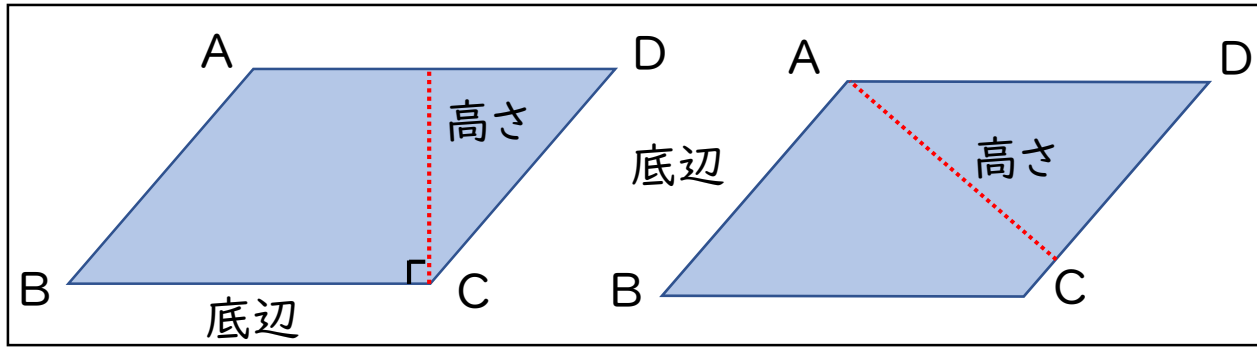


ICTを活用することで、写真や図を画像データとして配布し、児童、生徒が直接書き込んで考えられるようになります。

これにより、印刷の手間を省くことができ、児童、生徒が何度も試行錯誤しながら考えることができるようになります。

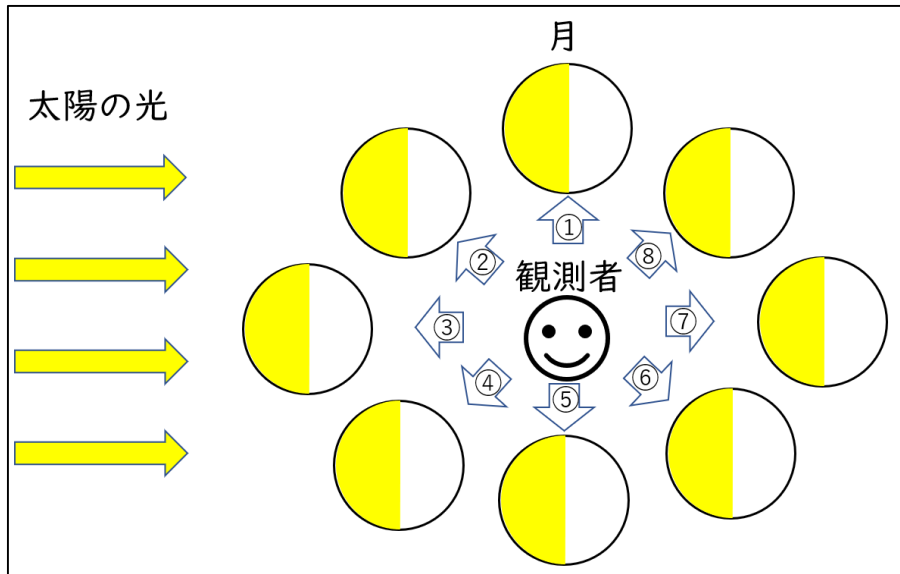
ここからは教科書で用いられている図表について、留意点を述べていきます。

・平行四辺形の図では底辺の捉え方によって、高さの表し方が異なるため、注意が必要です。

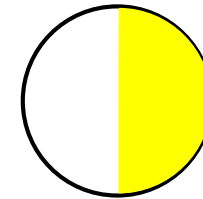


BCを底辺とした
場合の高さは・・・
ABを底辺とした
場合の高さは・・・

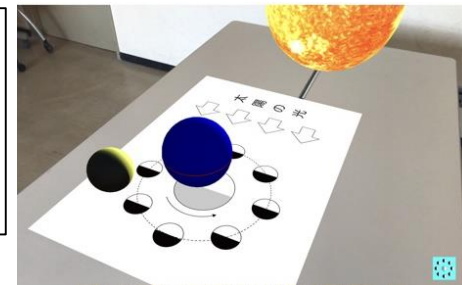
・図の位置関係から、みえる月の形をイメージすることは、児童生徒にとって難易度が高く、動画やアプリを使用することも考えられます。



⑤のとき見える月の形は・・・

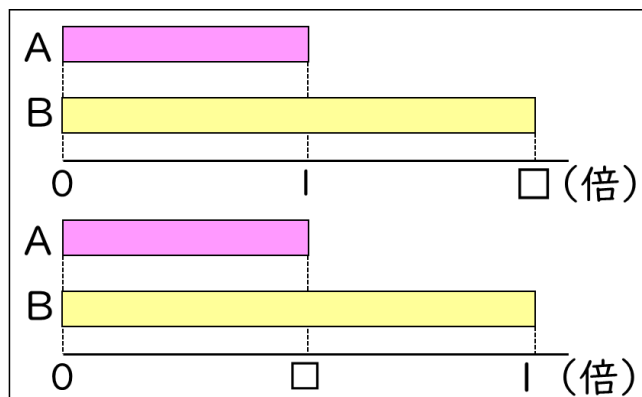


AR(仮想現実)によって、
太陽と月の位置関係を
シミュレートできる
アプリケーション



目次に
戻る

- 割合では、「もとにする量」「くらべる量」「割合」の数量関係を図に表して考えますが、もとにする量を何にするかによって異なる図になります。

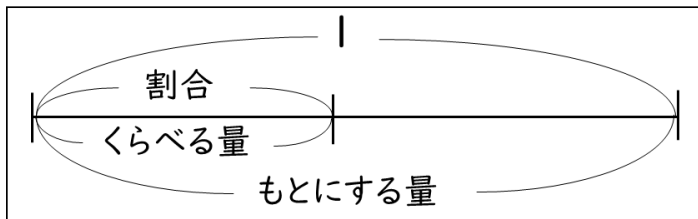


もとにする量をAとすると、
BはAの□倍にあたります。



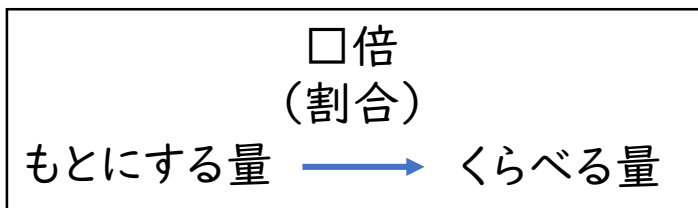
もとにする量をBとすると、
AはBの□倍にあたります。

- 線分図では、もとにする量(全体)を1として線分の上部で割合、下部に数量を書きます。目盛りをつける位置がわかりにくいことがあります。



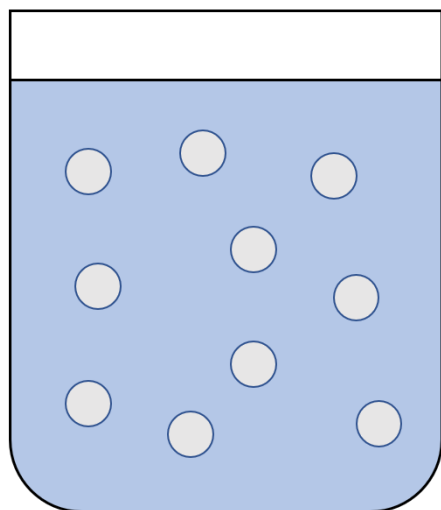
もとにする量を1として書き始めます。
くらべる量がわかっていないときは
見当をつけて目盛りをつけます。

- 関係図では、わからない数量を□にして考えますが、□を求める式を考える必要があります。

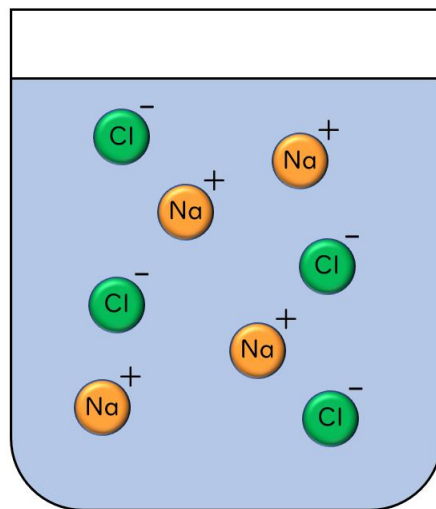


□倍(割合)をもとめる式は、
くらべる量÷もとにする量です。

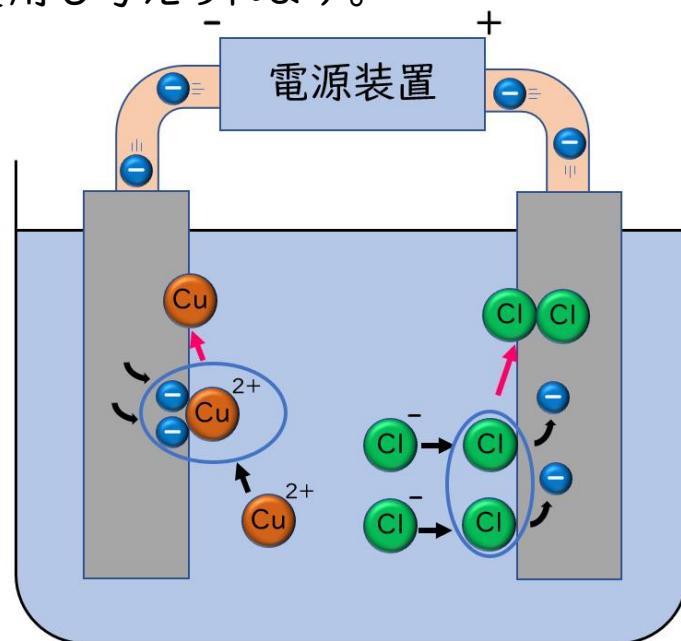
- ・理科では目には見えない現象をモデル図を使って考えます。
学年が上がると粒子の動きなどが関わるため、動画の使用も考えられます。



砂糖が水にとけると、目に見えない粒の大きさまでばらばらになります。



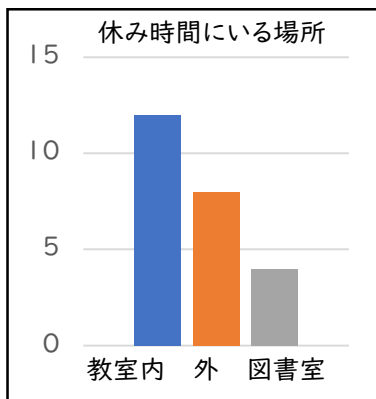
食塩（塩化ナトリウム）が水にとけると、ナトリウムイオンと塩化物イオンにばらばらにわかれます。



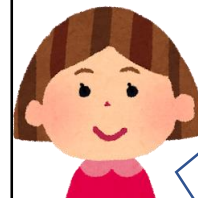
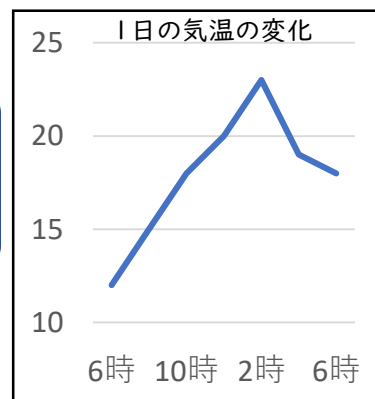
塩化銅は水にとけると、+の電気を帯びた銅イオンと-の電気を帯びた塩化物イオンに電離します。電圧を加えると陰極付近の銅イオンは電子を受け取って……。



・算数、数学でのグラフの読み書きにおいて、表計算アプリケーションの使用も考えられます。

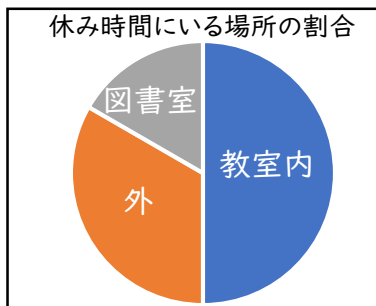


休み時間は教室にいる子が一番多いです。



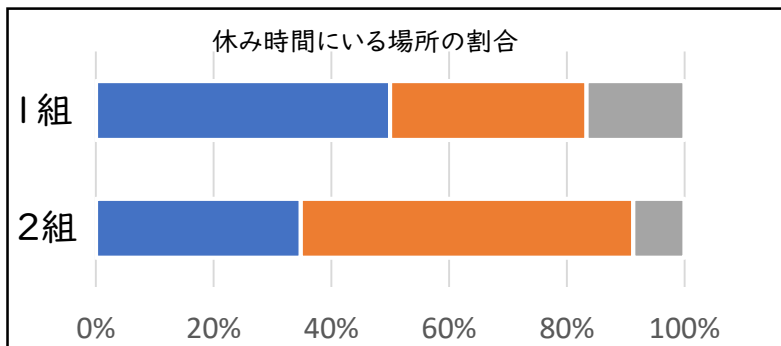
6時から気温があがり、午後2時頃に一番高くなります。

・割合の場合は、もとにする量が何かも考えて読み取る必要があります。



休み時間に教室にいる子は全体の半数を占めています。3分の1の子が外にいます。

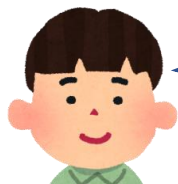
・もとにする量が異なる場合には、割合で比較することができます。



1組と2組を比べると、2組は外で遊ぶ人数の割合が大きいです。

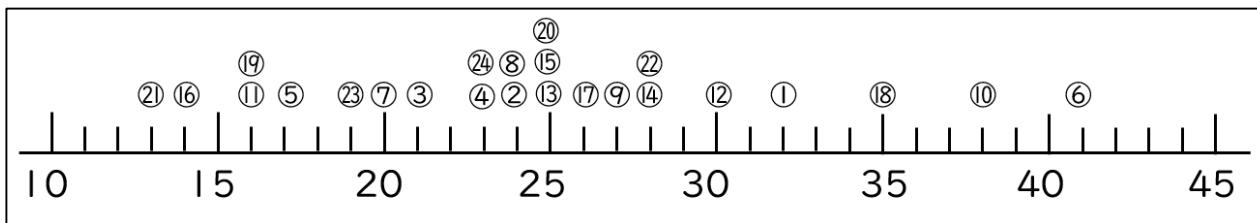
・6年生からはデータがどのように分布しているかも読み取ります。

1組のボール投げの平均は24.6mでした。



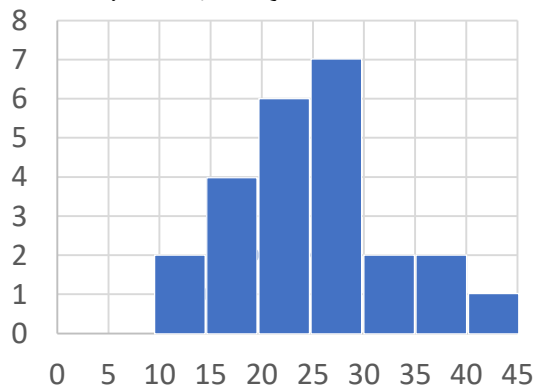
記録は下のよう分布していて、中央値は24m 最頻値は25mです。

1組の個人記録をドットプロットした図

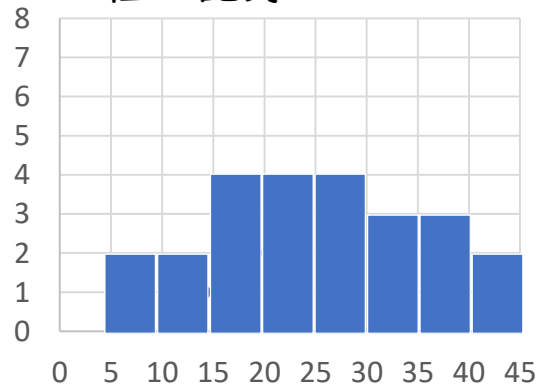


1組も2組も平均は同じくらいですが、1組は20~30mの階級の人数が多いです。

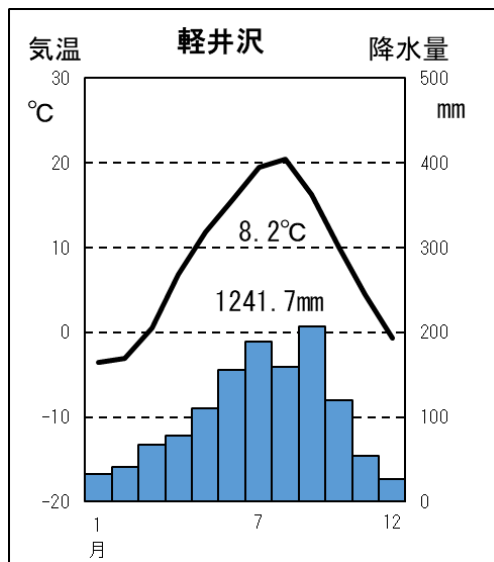
1組の記録



2組の記録

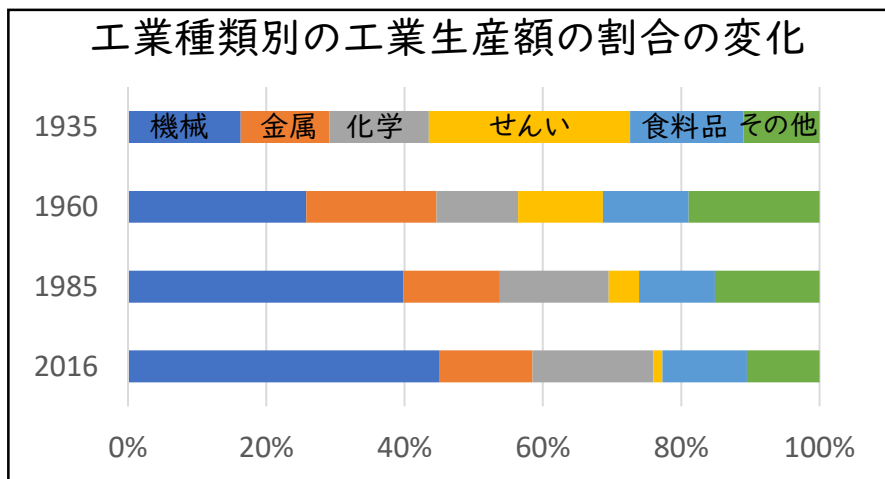


・社会で使われるグラフには複合的なものがあり、多くの情報を読み取る場合があります。



夏でも気温が上がらず、
年間の平均気温も高くない。
夏に雨が降るが、降水量はあまり多くない。

・算数、数学で学習した読み取る際の留意点を意識できるように声掛けしましょう。



1935年のせんい工業の生産額は2016年より多かったです。



もとにする総生産額は同じかな？

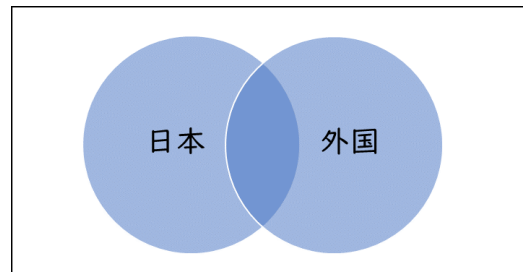
・情報と情報の関係をわかりやすく整理するために思考ツールを活用しましょう。

チャート図



順序を示します。

ベン図



共通点や相違点を整理します。

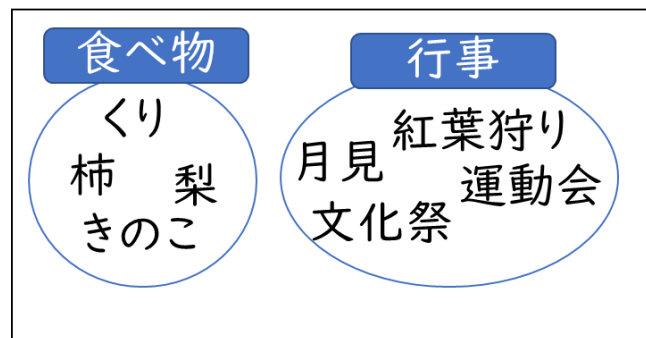
観点表

	A	B
観点A		
観点B		



観点を立てて比べます。

グルーピング



なかま分けして自分で観点を考えます。

学習活動例⑭「写真や絵から読み取ろう」

小学校1年生以上

教科書にある挿絵などから読み取ることができる情報をできるだけたくさん書き出します。



右の絵の状況をできるだけくわしく書きましょう。



砂場に女の子と男の子がいます。二人で砂の山を作っています。男の子の近くには緑色の柄のついた熊手が置いてあります。女の子のそばには緑色のバケツが置いてあります。……



低・中学年では慣れるまで教員が挿絵や写真を示しながら問いかけるとよいでしょう。



だれがいるかな？ 何があるかな？ どこにいるかな？
何をしているところかな？ 季節はいつかな？ どんな気持ちかな？

それは絵のどこからわかるかな？

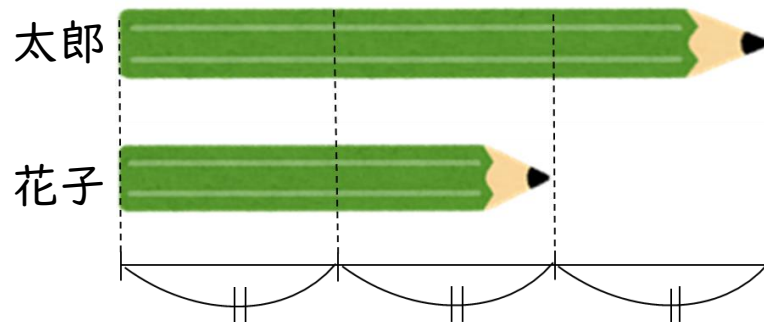
このとき、絵のどの部分から判断しているかをたずねるのがポイントです。

学習活動例⑮ 「数量の関係を言葉で表そう」

小学校4年生以上



右の図を見て、太郎さんの鉛筆の長さ
と花子さんの鉛筆の長さの関係をいろ
いろな言い方で表してみましょう。



花子さんの鉛筆の長さは
太郎さんの鉛筆の長さを
3等分した長さの2つ分です。



花子さんの鉛筆の長さは太郎
さんの鉛筆の長さの $\frac{2}{3}$ 倍です。



太郎さんの鉛筆の長さを1と
すると、花子さんの鉛筆の
長さは $\frac{2}{3}$ にあたります。



太郎さんの鉛筆の長さ
と花子さんの鉛筆の長さの比は
3:2です。



太郎さんの鉛筆の長さを x とすると、
花子さんの鉛筆の長さは $\frac{2}{3}x$ です。

学習活動例①⑥ 「数量の関係を図で表そう」

小学校4年生以上

たけるさんたちは、駅から7分間歩いたところで、「博物館まで1000m」や「駅まで500m」と書いてある看板を見つけました。
500mを7分間で歩く速さで歩き続けると、1000mを歩くのに何分間かかりますか。

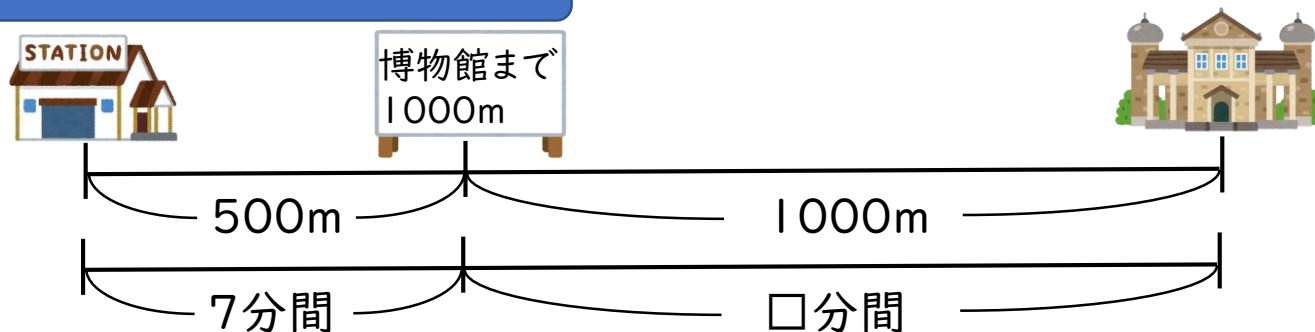


500mを7分間で歩くから、速さは

$\frac{\text{み}}{\text{はじ}}$ に当てはめて $500 \div 7 = 71.42 \dots$ あれ？割り切れない……。



まず、図に表してみましょう。



500m進むのに7分間かかったから、1000mなら2倍の時間がかかるね。
 7×2 で14分間だ。

公式に当てはめる前に、図で数量の関係をつかむようにしましょう。

学習活動例⑱ 「描写や現象を図で表そう」

小学校3年生以上

教科書の描写や現象を図で表してみましょう。

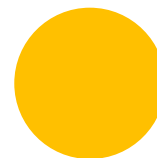
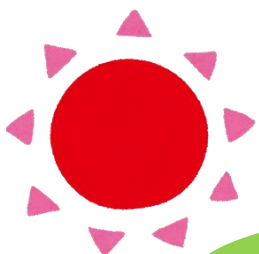
図を書く際には教科書の叙述や根拠をもとに、できるだけ正確に書きます。



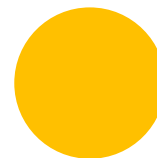
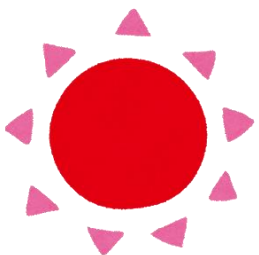
次の和歌の様子を簡単な図で表しましょう。

かぎろい

「東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ」 (柿本人麻呂 万葉集)



月と太陽の位置関係による月の満ち欠けを図で表しましょう。

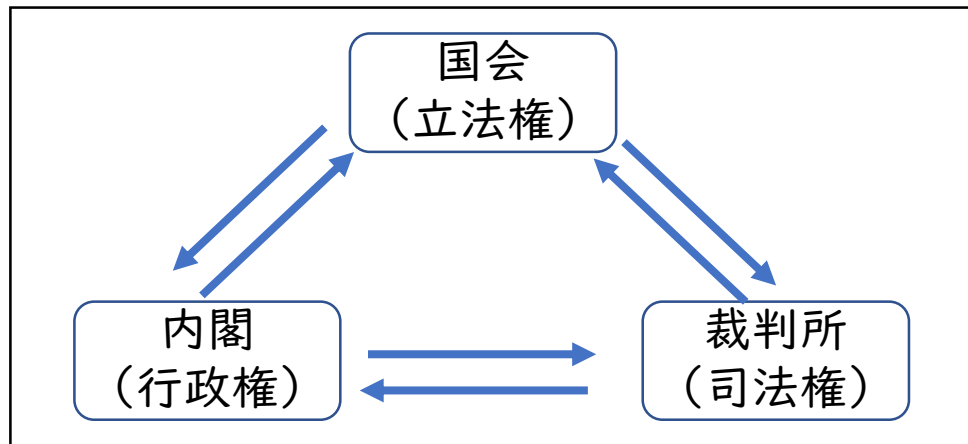


学習活動例⑱ 「図や表を使って説明しよう」

小学校3年生以上



三権分立について、図を使ってお互いに説明しましょう。



裁判所は政治が憲法に違反していないかを調べます。



弾劾裁判所って何？

国会は弾劾裁判所を設置します。



裁判官としてふさわしくないことをした裁判官をやめさせるかどうかを判断する裁判所だよ。



お互いにチェックし合う仕組みになってるんだね。

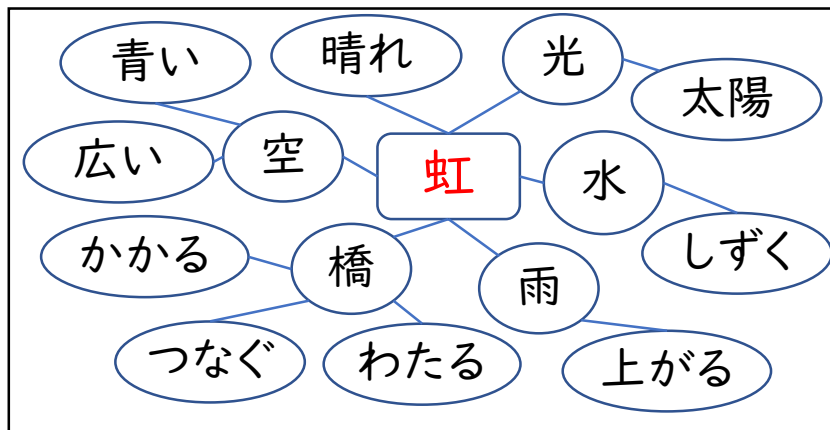
学習活動例⑱ 「俳句や詩を作ろう」

小学校3年生以上

イメージと言葉を結びつけるには、俳句や詩などの創作活動が適しています。



マッピングや写真からイメージを広げ、俳句や詩を作りましょう。



にじの橋 雨のしずくが 空わたる

雨上がり 空に光の 橋かかる



助詞の使い方や語順を吟味することで言葉と言葉の関係についても考えることができます。



にじの橋 雨のしずくも 空わたるとするとどうかな？

橋かかる 雨上がりの 光の空だと余韻が残る感じがするよ。



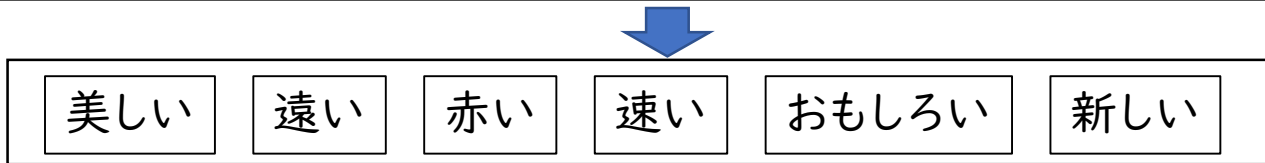
5 具体例を考える

指導のポイント

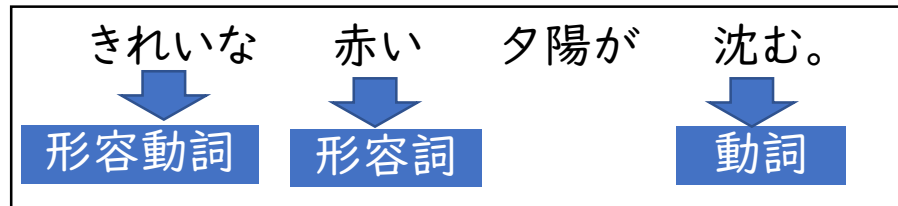
具体例と、定義や考えなどの抽象を結びつけるには次のパターンがあります。

- ・定義から具体例を出す

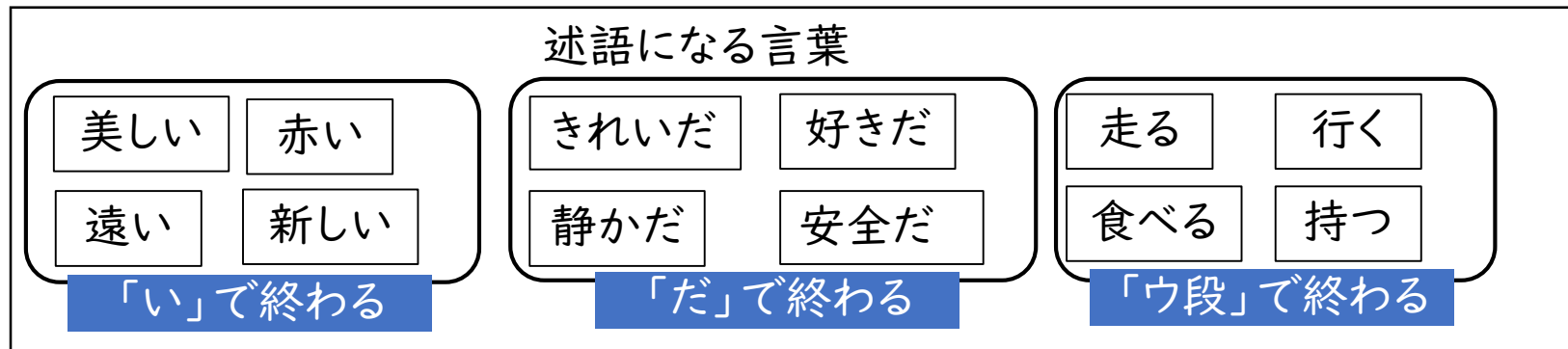
形容詞の定義 自立語で活用し、述語になる。「い」で終わる。状態・性質を表す。



- ・具体例を定義に当てはめて分類する



- ・具体例を一般化する(抽象化 仲間分け)



学習活動例⑳ 「具体例を挙げよう」

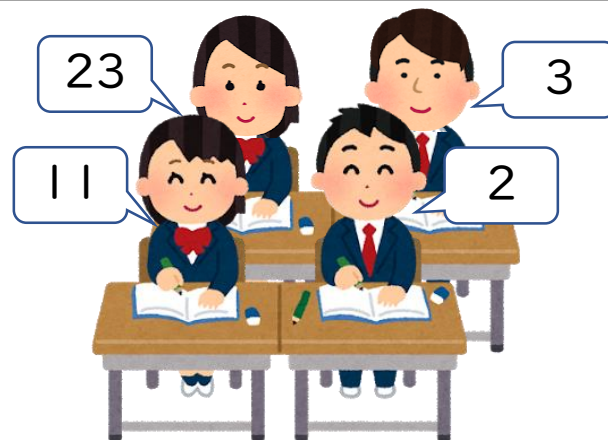
小学校3年生以上

1とその数のほかに約数がない自然数を素数といいます。ただし、1は素数にふくめません。



1人1つずつ素数を言いましょう。

時間を指定して、グループでできるだけたくさん挙げさせ、後で共有する方法もあります。



成虫のからだは、頭、おね、はらの3つの部分からできていて、おねにあしが6本あります。このようななかまを、こん虫（昆虫）といいます。



1人1つずつ昆虫だと思う生き物を言いましょう。

アリ

バッタ

トンボ

チョウ

ダンゴムシは？



教員は昆虫でないものを挙げ、なぜ、昆虫ではないのか、定義に当てはめて考えるきっかけを作ります。

学習活動例② 「定義に当てはめて分類しよう」

小学校3年生以上

植物の体はどれも葉、茎、根からできています。葉は茎についていて、根は茎の下にあります。

(新しい理科 3年 東京書籍)



右のうち、
植物はどれですか？

きのこ類



海藻



コケ類

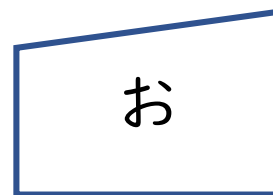
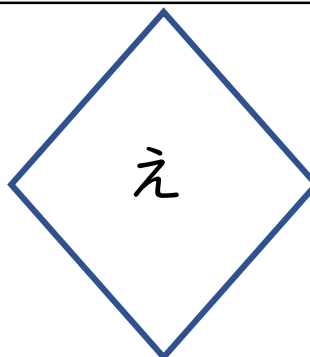
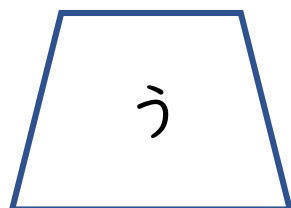
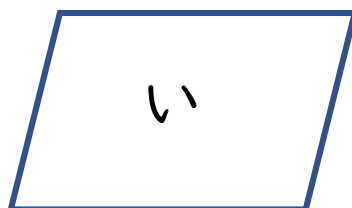
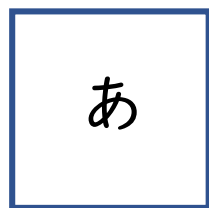


シダ類



四角形 4本の直線で囲まれている形
長方形 角がみんな直角になっている四角形
正方形 角がみんな直角で、辺の長さがみんな同じ四角形
台形 向かい合う1組の辺が平行な四角形
平行四辺形 向かい合う2組の辺が平行な四角形
ひし形 辺の長さがすべて等しい四角形

左の定義に当てはめて、
下の図形を分類してみま
しょう。



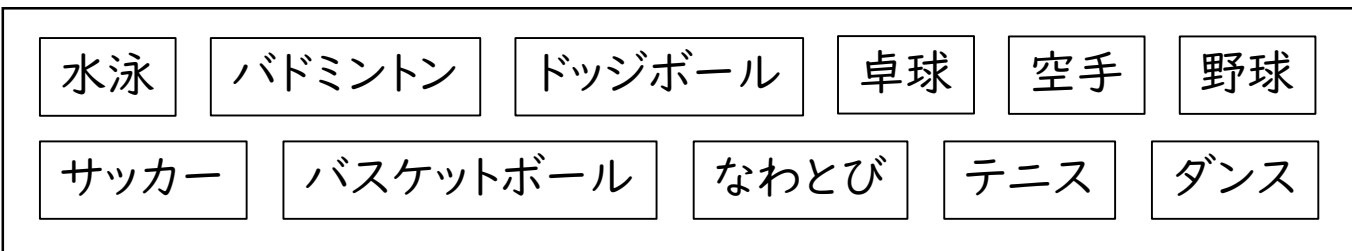
学習活動例② 「仲間わけしよう」

小学校3年生以上

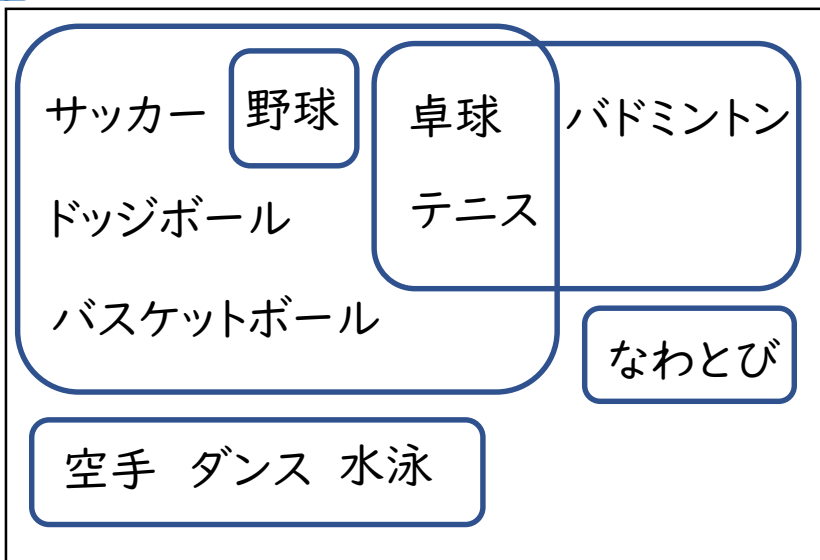


アンケート結果を分類して、どんな特徴があるか考えてみよう。

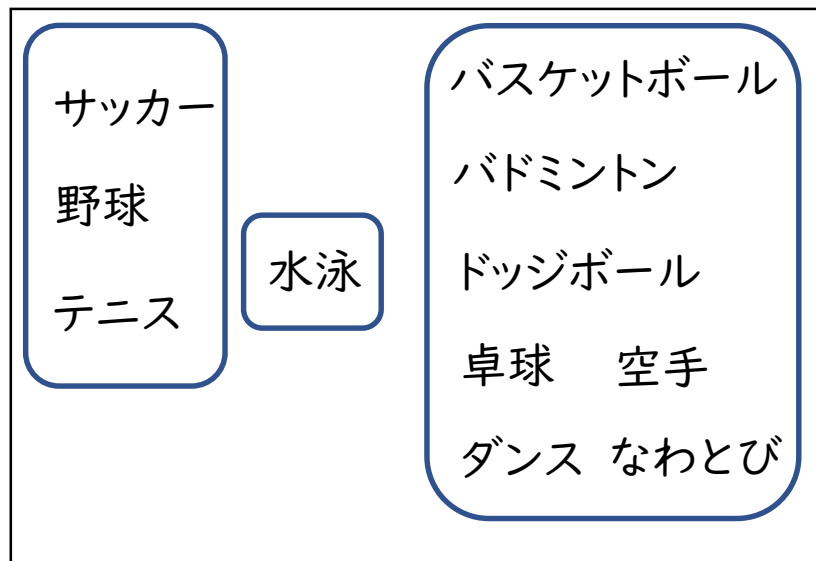
「好きなスポーツ」アンケート結果



使う道具でわけてみたよ。



場所でわけてみたよ。



学習活動例②③ 「文章題を作ろう」

小学校2年生以上

各学年の学習状況に応じて、式から文章題を作ります。



10÷5の式になる文章題を作しましょう。



10個のいちごを5人に同じ数ずつ分けたときの一人分は？



10個のいちごを一人に5個ずつ分けると何人に分けられますか？



5人で10本のペットボトルを集めました。
1人平均何本集めましたか。



10kmの道のりを5時間かけて歩きました。速さは？



10cmの棒を立てたら5cmの影ができました。
棒の長さとお影の長さの比の値は？

6 読み取ったことをもとに考える

指導のポイント

これまでの1～5の過程で読み取ったことから何が言えるか、理由、目的などを考えます。



次の文章からどんなことが言えますか？

物質を見わける方法の1つに物質の質量や体積をはかる方法がある。体積が同じでも、その質量は物質の種類によってちがう値を示す。単位体積あたりの質量をその物質の密度といい、ふつう 1cm^3 あたりの質量で表す。



物質の密度がわかれば、物質の種類が予想できそうです。



下の絵からどんなことが言えますか？



2人の表情から楽しく砂山を作っていると思います。
半袖を着ていることから季節は夏だと思います。
バケツがあることから水で砂をかためてからトンネルをほったと思います。



学習活動例②④ 「理由や目的を考えよう」

小学校3年生以上



学習活動例⑩でまとめた表から理由や目的を考えましょう。

だれが (何が)	いつ	どこで	何を	どのように	どうした 何だ どんなだ	なぜ 何のために
家康は			豊臣秀吉の 天下統一に	協力し	関東の有力な 大名となった。	家康は平和 な国を作り たかったから 全国を支配 したのかな？
家康は	秀吉の死後、		多くの大名を	味方につけ	勢いを強めた。	
家康は		関ヶ原 (岐阜県)	自分に反対す る大名たちを	破り	全国支配を 確かなものにした。	



だれが 何が	本居宣長など の国学者	百姓や 町人	大塩平八郎 (元役人)	差別された人々	長州藩や薩摩 藩などの藩
何をした	国学の研究を 進め、政治を行 う人の心構えを 説いた。	百姓一揆や 打ちこわしをす るようになった。	役人を批判し、 反乱を起こした。	差別を強める 命令を実行さ せなかった。	藩の政治を改 革しようとした。
なぜ 何のために	幕府や藩の支配する力が弱まってきたのかな。				



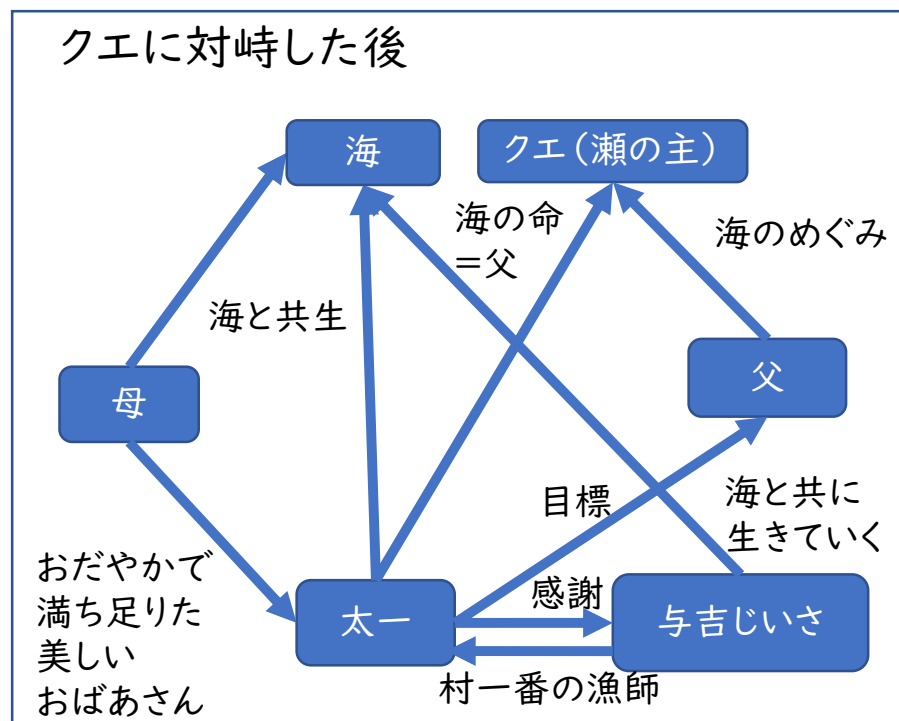
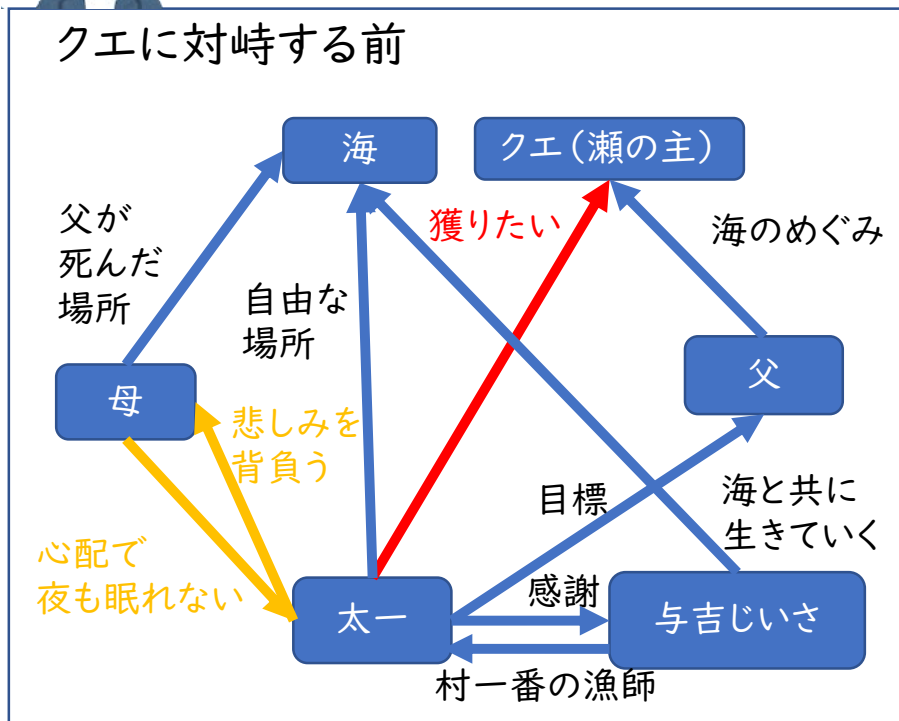
学習活動例②⑤ 「整理した情報から考えよう」

小学校4年生以上



相関図や思考ツールで情報を整理して考えてみましょう。

(国語 6年「海の命」)



主人公の太一は、クエも父と同じ海の命の1つだと考えることで、クエに対する復讐心が消えたと考えられます。

主体的・対話的で深い学びの中で

教科書の内容を正しく読み取れるようになってくると、教科書には書いてない内容について、疑問が出てくるようになります。また、それまで気づかなかった新たな発見ができるようになります。

一人一台タブレット端末環境下では、児童・生徒が自ら疑問に思ったことを調べることができます。このインターネット上の情報を読み取る際にも、基礎的読解力が必要です。

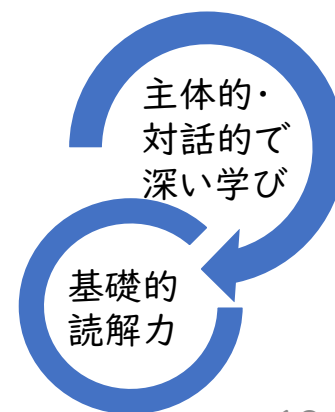


また、他者との対話にも基礎的読解力は必要です。考えや意見を述べる際には根拠を明確にして、論理的に話す必要があります。聞き手はその論理性や根拠が正しいかを判断しながら聞きます。



このように、主体的・対話的で深い学びを進めていく過程において、書いてある内容や、他者の考えを注意深く理解しようとすることで、基礎的読解力が向上していきます。

基礎的読解力を、主体的・対話的で深い学びの中で育てていきましょう。



基礎的読解力研究およびRST受検に協力いただいた学校（令和元～3年度）

坂井市立 大石小学校	福井市 灯明寺中学校	三国高等学校
鯖江市 豊小学校	福井市 大東中学校	金津高等学校
鯖江市 河和田小学校	福井市 社中学校	坂井高等学校
越前市 坂口小学校	福井市 足羽第一中学校	奥越特別支援学校
越前市 岡本小学校	あわら市 芦原中学校	羽水高等学校
越前市 北新庄小学校	あわら市 金津中学校	道守高等学校
敦賀市立 黒河小学校	坂井市立 坂井中学校	鯖江高等学校
敦賀市立 角鹿小学校	越前市 武生第二中学校	武生東高等学校
小浜市立 小浜三郷小学校	越前市 武生第二中学校坂口分校	若狭高等学校
	敦賀市立 角鹿中学校	
	高浜町立 内浦中学校	
	福井県立 高志中学校	

研究協力者

NTTコミュニケーション科学基礎研究所

主任研究員 藤田 早苗 氏

参考

新井紀子(2018)「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」
(2019)「AIに負けない子どもを育てる」

福井県教育総合研究所
教科研究センター 新教育課題研究課